

こんにちは 野々市市議会です



富奥公民館
夏の富公祭

9月定例会議案審議・議決結果一覧

.....2P

各委員会の主な質問と答弁

.....3P

9月定例会一般質問 11人

.....5P

12月定例会日程

.....16P

令和7年度一般会計補正予算、令和6年度各会計決算認定で議論 下水道管路施設緊急点検業務費用や 北国街道出店事業者に対する補助費用を追加

令和7年第3回9月定例会は、9月1日から25日まで開かれました。9月定例会では、1億4,399万3千円を追加する補正予算案、令和6年度各会計における決算認定議案に対し議論が行われ、市長提出議案15件は全会一致または賛成多数で可決、認定、同意しました。

補正予算の主な事業内容は、「議員報酬及び議員定数の在り方を考えるシンポジウム」開催費用や議員パソコンの更新費用等の追加をはじめ、北国街道出店事業者に対する補助金、聴覚障害者等の電話窓口バリアフリー化にかかる費用、国から要請のあった下水道管路施設の緊急点検にかかる費用、いじめ防止条例の策定に向けた検討委員会やいじめ防止啓発リーフレットにかかる費用、物価高騰による学校給食の食材料費の不足分を補うための費用です。

○=賛成、×=反対
※所属会派は議決時点での会派を記載しています。
※会派等の名称：市民の会（のいち市民の会）、共（日本共産党）、令（令和清栄）、無（無名）、公（公明）、議（議長）、副（副議長）

議決結果一覧

番号	件名	議 決 日	議 決 結 果	野々市フォーラム		市民の会		共 令 無 公 議 副					
				三 納 昭 博	田 中 陽 子	富 島 勝 己	小 堀 孝 史	北 村 大 助	中 村 義 彦	西 村 和 流	梅 野 智 恵 子	岩 見 雅 博	
議案第43号	令和7年度野々市市一般会計補正予算（第2号）について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和6年度野々市市一般会計歳入歳出決算認定について	9月25日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第45号	令和6年度野々市市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月25日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第46号	令和6年度野々市市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月25日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第47号	令和6年度野々市市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月25日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第48号	令和6年度野々市市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和6年度野々市市水道事業会計決算認定について	9月25日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第50号	令和6年度野々市市公共下水道事業会計決算認定について	9月25日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第51号	野々市市議員選挙及び野々市市長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	野々市市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	野々市市水道給水条例及び野々市市公共下水道条例の一部を改正する条例について	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	野々市市公平委員会委員の選任につき同意を求めるについて	9月1日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	野々市市教育委員会教育長の任命につき同意を求めるについて	9月25日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	野々市市教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて	9月25日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	「消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	9月25日	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
議会議案第1号	地方財政の充実・強化に関する意見書	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第2号	脳脊髄液漏出症患者救済に関する意見書	9月25日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。

各委員会の主な質問と答弁

9月11・12・16・17・24の5日間

予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

各委員会の主な質問と答弁

- Q** 現在の市職員の退職者について、年齢層の傾向と分析は。
- A** 令和7年3月末において、設置町内会数は25町内会、設置台数は59台、町内会設置率は46・3%である。
- Q** 以前と比べ若者の退職が増え、資格所有者の早期の退職も増加傾向にあると感じている。対策として、資格職の採用試験において、試験科目の一部免除や、職員が一級建築士に合格した場合にかかる資格取得費用を50万円を限度に助成する制度を今年度から新設している。
- Q** 病児・病後児センターあわだつばきの杜センターについて、実施設計において雨水排水を含めた考え方をしているか。
- A** (仮称) 野々市つばきの杜センター【完成イメージ】



(仮称) 野々市つばきの杜センター
【完成イメージ】

- Q** 病児・病後児センターあわだつばきの杜センターが開設し、令和6年度に52名の利用があった。現場において、申し込みはあつたが断らなければならぬ等の状況はあつたのか。
- A** インフルエンザ等の流行時期には、「希望に添えられない事があつた」と伺っている。



病児・病後児センターあわだ

- Q** 防犯カメラについて、54町内会のうち、どのくらい設置がされているのか。
- A** 令和7年3月末において、設置町内会数は25町内会、設置台数は59台、町内会設置率は46・3%である。
- Q** 現在、実施設計を見直す中で、当初は入っていなかつた雨水貯留槽の設置が設計上に入つてくる。今回の大雪によって様々なところで被害があつたことから、そのことも含めて設計事務所と協議している。

A 水貯留槽の設置が設計上に入つてくる。今回の大雪によって様々なところで被害があつたことから、そのことも含めて設計事務所と協議している。

- Q** 対策事業（睡眠中の事故防止対策）の対象年齢は。

A 主に未満児が対象となつていて補助を行つており、昨年度取り組まれた園は2園であつた。補助のメニューについては、全施設に案内をしている。

- Q** 対策事業（睡眠中の事故防止対策）の対象年齢は。また、令和6年度は実施対象が2施設であつたが、今後全施設に対して行つていく事業なのかな。園に対して補助の周知は。

A 主に未満児が対象となつていて補助を行つており、昨年度取り組まれた園は2園であつた。補助のメニューについては、全施設に案内をしている。

木谷 直子 議員
(公明)

5歳児健診を実施し、適切な支援や療育につなげスムーズな学校生活スタートを

内部での検討や関係機関との調整を図り、R10年度までの実施を目指していく

Q 単身高齢者の終活支援について
身寄りのない方が亡くなられた時の対応について、明確化しておくことは重要であると考えています。

単身高齢者の終活支援について

A 健康福祉部長●HPV検査を導入した場合、運用管理が複雑になるという課題がある。これらの対応も含め、医師会のご意見や他の自治体の実施状況も踏まえ、今後検討してまいりたい。

Q HPV検査は、陽性者は経過見・治療につなげることができ、陰性なら、その後は5年に1度の受診となり負担が減る。早期導入すべきだ。

A 健康福祉部長●HPV検査を導入した場合、運用管理が複雑になるという課題がある。これら

の対応も含め、医師会のご意見や他の自治体の実施状況も踏まえ、今後検討してまいりたい。

Q 5歳児健診について

A 専門家の確保が課題であり、近隣の市町や県と連携し、広域での人材養成や派遣の取組みが大事と考えるが、市長の見解を伺う。

A 市長●実効性のある5歳児健診を実施するため、石川県における研修を実施していただくよう要望してまいりたい。

Q 子宮頸がんのHPV検査について

A HPV検査は、陽性者は経過見・治療につなげることができ、陰性なら、その後は5年に1度の受診となり負担が減る。早期導入すべきだ。

A 健康福祉部長●HPV検査を導入した場合、運用管理が複雑になるという課題がある。これら

の対応も含め、医師会のご意見や他の自治体の実施状況も踏まえ、今後検討してまいりたい。

Q 認知症に関する課題について

A 健康福祉部長●現在も、さまざまな機会に認知症予防に向けた取組みを実施している。認知

症は、生活習慣病と密接な関係があ

ります。若い世代を含め、認知症予防の

取り組みを強化すべきだ。

Q 認知症を減らすためには、若い世代から認知症予防の知

識の普及と意識の醸成が必要であ

る。若い世代を含め、認知症予防の

取り組みを強化すべきだ。

A 健康福祉部長●厚生労働省が定めた手引きを参考にしながら、状況に応じて柔軟な対応に努めている。まずは、これまでの対応事例の蓄積や関係機関との連携を通じて、実務の整理を図つてまいりたい。

A 市長●国では、身寄りのないひとり暮らしの高齢者を対象に、入院や施設の入所、葬儀を含む死後の事務手続きを支援するため、社会福祉法を改正する方針であると聞いている。今後の国の動向にも注視しながら、検討してまいりたい。

Q 「終活情報登録事業」を実施することことで、生前の意思が尊重され、安心して人生の最後を迎えるようになりますか。

A 市長●国では、身寄りのないひとり暮らしの高齢者を対象に、入院や施設の入所、葬儀を含む死後の事務手続きを支援するため、社会福祉法を改正する方針であると聞いている。今後の国の動向にも注視しながら、検討してまいりたい。

Q 認知症の普及と意識の醸成が必要である。若い世代を含め、認知症予防の

取り組みを強化すべきだ。

A 健康福祉部長●今年度から、地域の認知症サポーターが

チームを組み、認知症の人とその家

族への支援に取り組む「チームオレンジ」の活動を推進しており、郷地

区に1チームを結成したところであ

る。今後は、認知症サポーターステッ

プアップ研修の充実を図り、認知症

の本人や家族が、気軽に参加でき

る集いの場の拡大にも取り組む。

Q 5歳児健診について

A 専門家の確保が課題であり、近隣の市町や県と連携し、広域での人材養成や派遣の取組みが大事と考えるが、市長の見解を伺う。

A 市長●実効性のある5歳児健診を実施するため、石川県における研修を実施していただくよう要望してまいりたい。

Q 子宮頸がんのHPV検査について

A HPV検査は、陽性者は経過見・治療につなげることができ、陰性なら、その後は5年に1度の受診となり負担が減る。早期導入すべきだ。

A 健康福祉部長●HPV検査を導入した場合、運用管理が複雑になるという課題がある。これら

の対応も含め、医師会のご意見や他の自治体の実施状況も踏まえ、今後検討してまいりたい。

Q 認知症に関する課題について

A 健康福祉部長●現在も、さまざま

な機会に認知症予防に向けた取組みを実施している。認知

症は、生活習慣病と密接な関係があ

ります。若い世代を含め、認知症予防の

取り組みを強化すべきだ。

A 健康福祉部長●厚生労働省が定めた手引きを参考にしながら、状況に応じて柔軟な対応に努めている。まずは、これまでの対応事例の蓄積や関係機関との連携を通じて、実務の整理を図つてまいりたい。

A 市長●国では、身寄りのないひとり暮らしの高齢者を対象に、入院や施設の入所、葬儀を含む死後の事務手続きを支援するため、社会福祉法を改正する方針であると聞いている。今後の国の動向にも注視しながら、検討してまいりたい。

Q 「終活情報登録事業」を実施することことで、生前の意思が尊重され、安心して人生の最後を迎えるようになりますか。

A 市長●国では、身寄りのないひとり暮らしの高齢者を対象に、入院や施設の入所、葬儀を含む死後の事務手続きを支援するため、社会福祉法を改正する方針であると聞いている。今後の国の動向にも注視しながら、検討してまいりたい。

Q 認知症の普及と意識の醸成が必要である。若い世代を含め、認知症予防の

取り組みを強化すべきだ。

A 健康福祉部長●今年度から、地域の認知症サポーターが

チームを組み、認知症の人とその家

族への支援に取り組む「チームオレンジ」の活動を推進しており、郷地

区に1チームを結成したところであ

る。今後は、認知症サポーターステッ

プアップ研修の充実を図り、認知症

の本人や家族が、気軽に参加でき

る集いの場の拡大にも取り組む。

Q 5歳児健診について

A 専門家の確保が課題であり、近隣の市町や県と連携し、広域での人材養成や派遣の取組みが大事と考えるが、市長の見解を伺う。

A 市長●実効性のある5歳児健診を実施するため、石川県における研修を実施していただくよう要望してまいりたい。

Q 子宮頸がんのHPV検査について

A HPV検査は、陽性者は経過見・治療につなげることができ、陰性なら、その後は5年に1度の受診となり負担が減る。早期導入すべきだ。

A 健康福祉部長●HPV検査を導入した場合、運用管理が複雑になるという課題がある。これら

の対応も含め、医師会のご意見や他の自治体の実施状況も踏まえ、今後検討してまいりたい。

Q 認知症に関する課題について

A 健康福祉部長●現在も、さまざま

な機会に認知症予防に向けた取組みを実施している。認知

症は、生活習慣病と密接な関係があ

ります。若い世代を含め、認知症予防の

取り組みを強化すべきだ。

A 健康福祉部長●厚生労働省が定めた手引きを参考にしながら、状況に応じて柔軟な対応に努めている。まずは、これまでの対応事例の蓄積や関係機関との連携を通じて、実務の整理を図つてまいりたい。

A 市長●国では、身寄りのないひとり暮らしの高齢者を対象に、入院や施設の入所、葬儀を含む死後の事務手続きを支援するため、社会福祉法を改正する方針であると聞いている。今後の国の動向にも注視しながら、検討してまいりたい。

Q 「終活情報登録事業」を実施することことで、生前の意思が尊重され、安心して人生の最後を迎えるようになりますか。

A 市長●国では、身寄りのないひとり暮らしの高齢者を対象に、入院や施設の入所、葬儀を含む死後の事務手続きを支援するため、社会福祉法を改正する方針であると聞いている。今後の国の動向にも注視しながら、検討してまいりたい。

Q 認知症の普及と意識の醸成が必要である。若い世代を含め、認知症予防の

取り組みを強化すべきだ。

A 健康福祉部長●今年度から、地域の認知症サポーターが

チームを組み、認知症の人とその家

族への支援に取り組む「チームオレンジ」の活動を推進しており、郷地

区に1チームを結成したところであ

る。今後は、認知症サポーターステッ

プアップ研修の充実を図り、認知症

の本人や家族が、気軽に参加でき

る集いの場の拡大にも取り組む。

本町通り（旧北国街道）の街並み

Q 北国街道まちづくり推進事業について、出店する店舗は確定しているのか。テナント募集の看板は取り下げるべきではないか。

A 管理会社からは、古民家を改修しう区画の募集をしていると伺っている。今のところ、美容と飲食が出店を予定しているが、残りの1区画が未定のため現在もテナント募集の看板が出ている。

Q 広報活動について、ラインの登録者やインスタグラムのリーチ数が増えている。市からのNS発信等の周知にむけて感じることは。

A 市の情報を市民に伝える手段としてSNSを活用しておられる。引き続き、他課と連携しながら登録者数を増やす取り組みを進めていきたい。

Q 防犯灯をLEDに交換していくぐにあたり、あと何年かかるのか。

A 市全域の防犯灯のうちLED灯への交換が済んでいる割合は現在88・8%であり、少しずつではあるが交換率が上がってきていく。今後も町内会へ積極的に働きかけを行っていきたい。

Q 防犯灯をLEDに交換していくくまでに、雪捨場とするのか。

A 現在、隣接して「中央公園西線」が整備中であり、アセ

市の特産品
日本酒「猩々」

人 事

野々市市市教育委員会教育長
安嶋 是晴（栗田二丁目）

野々市市市教育委員会委員
大久保邦彦（栗田三丁目）

野々市市公会堂委員会委員
小畠 邦雄（押越一丁目）

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。

一般質問を動画でご覧いただけます。

*二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/8-Wk-EpL49M>

5

4



中村 義彦 議員
(野々市フォーラム)

市民協働のまちづくりにおける市長、市役所の役割を問う

旧北国街道賑わい創出のために地域資源の活用に関しては地域と行政が連携し、市民や、関係団体の意見が重要であると考える

野々市じょんからの里マラソン大会コースの変更について

A 市長●旧北国街道にある地域資源をどのように活用し、賑わいを創出するかにおいては地域と行政が連携し、市民や関係団体に意見を反映させ、進めることが大変重要であると考える。本市としては関係団体や地域住民から、これからの旧北国街道賑わい創出に向け、北国街道賑わい創出協議会の設置が必要だと地元の住民の機運が高まることが期待している。

（Q） 北国街道での古民家の未来
展望や旧本町児童館跡の利
用問題、旧大倉外科跡地の利用方
法などを、総合的に議論する仮称北
国街道賑わい創出協議会の設置が必
要だと思う。そのことがまさに、市
民協働のまちづくりの実践そのもの
と思うが、仮称北国街道賑わい創出
協議会の設置の考えはあるのかを聞
う。

いじめ防止条例制定時期と 内容について



旧北国街道

質問を動画でご覧いただけます。
二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PC からは、 <https://youtu.be/RiQtCZwx1Hg>



中村 和流 議員
(ののいち市民の会)

「のっティ」にキャッシュレス決済を誰もが使いやすい交通へ導入を提案

導入は必要。具体的な検討を進める

「トイ」の利便性を向上のため、ICカード等によるキャッシュレス決済の導入が必要と考えるが、導入予定を伺う。



「のっティ」は4ルート
各1日14便で市内を網羅

Q 「Jども基本法」（2023年施行）

第3条 子が意見言つ機会を保障、第11条 施策に声を活かすしくみ

「Jども基本法」第3条「すべてのJどもが自分に関する」とについて意見を表明する機会と活動に参画する機会が確保される」とを定めてるが、その意見をどのように表明し参画してもいいのか。

「うなじ」のもとつて身近な場で意見を伝えられる環境づくりが重要。「じもの声を丁寧に受け止め、市政やまちづくりに活かしていくには、市政において極めて重要。」

【「子ども基本法」第11条】
「子どもに関する施策をつくる場合、市は「子どもの意見を聞き、政策に活かす仕組みを作る」と定義している。本市では「子どもの声を市の政策にどのように活かしていくのか」市長●「子ども計画」策定にあたり、小学5年生と中学2年生を対象にアンケート調査を実施し、その結果を計画に反映しました。又、「子ども・子育て会議」に30歳以下の若者を委員として加えることで、「子どもたちの声を政策に活かす仕組みを整えていきます。



国道8号からの
「ふるさと歴史館」の看板

Q 国の史跡「御経塚遺跡」に隣接し、縄文時代の土器や土偶など国的重要文化財4219点を収蔵・展示する「ふるさと歴史館」の魅力向上のために改善点を3つ挙げます。

①重要文化財が2階に多く展示されてしまおりエレベーターの設置が必要です。

②重要文化財が数多く出土し、修復した土器の展示と保管の場所の確保。

③国道8号から見える看板が小さいため、情報発信のためにデジタルサイネージや施設への見やすい表記が求められる。



一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/csc2U6EjoJ0>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



西本 政之 議員
(令和清栄)

野々市小学校の水害対策を急げ

排水施設や貯留施設の整備などを多角的な視点から早急に対策する

Q 職員の熱中症対策について
A 市長 ● 野々市小学校の浸水対策については、周辺の雨水流入を防ぐような「排水施設の整備」や、大量の雨水を一時的に貯留する「貯留施設の整備」など、多角的な視点から早急に対策を講じていただきたい。

Q 厚生労働省は労働安全衛生規則を改正し、今年の6月から、事業者に対し罰則付きの熱中症対策の義務化を行った。しかし、働く場所が屋外か室内かの限定はない。市役所の職員の熱中症対策が必要だ。来庁者からも、夏場の暑さを指摘する声が聞かれることがあり、庁舎内の温度管理の見直しが必要なことは明白だ。積極的に取り組む必要があります。

Q 水泳授業の外部委託について
A 私は、昨年の12月定例会でプールの老朽化に伴うプール授業の外部委託を提案した。今回、先進地である鹿児島市を視察してきたことで、さらにその有用性を確認した。デメリットは移動時間くらい

A 教育部長 ● 学年や特性が異なる児童生徒8人を一人の教職員が担当しており、業務負担が過重となっていると感じている。限られた人材の中で、支援員の効率的な配置や質の向上、業務内容の見直しや改善などで、効率的な支援を提供できるよう努める。

一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/FFSYEZFbgo4>

野々市市こども食堂ネットワークの今後の取組について伺う

市社会福祉協議会とともに安全・安心な子どもの居場所づくりに努めてまいりたい



梅野 智恵子 議員
(のいち市民の会)

市民活動といじどもの居場所づくりについて

Q 本市とバローホールディングスとの協定内容と、こども食堂への寄与状況、今後さらに支援企業の開拓や民間との協定を広げていく考えはあるか伺う。

A 市長 ● 地域社会の持続的な発展に寄与することを目的とした包括連携協定であり、「健康・福祉の増進」「子育て支援」「食品口減」「防災・安全・安心なまちづくり」「持続可能な社会を実現するための施策の推進」に関する課題について緊密な連携と協力のもと取り組む。協定締結式ではこども食堂代表者ほか、市社会福祉協議会が参加し、フードドライブポストの設置式をおこない、現在市内5か所にフードドライブポストが設置されご寄付いただいた食品は市内6か所のこども食堂で活用されている。いじども食堂の運営には企業等からの支援が不可欠であり、引き続き支援の輪が広がるよう、さまざまな機会を通じて働きかけていく。

野々市市こども食堂ネットワークの枠組みを利用して

A 健康福祉部長 ● 金沢市の事業は先駆的な実践例の一つとして注視しており、本市においても「重層的支援体制整備事業」における参加支援事業と「野々市市こども食堂ネットワーク」の連携を通じて子どもや家庭を包括的に支援していただきたい。

A 地域政策部長 ● パークアンドライド推奨の観点から市内5か所からシャトルバスの運行をした。じょんからまつり実行委員会も食堂ネットワークの連携を通じて子どもや家庭を包括的に支援するとともに、国の補助金の活用も組みを進める。ニーズを丁寧に把握して検討を進める。

野々市じょんからまつりについて

Q 子どもたちや子ども会役員、保護者が安心して会場まで移動し参加しやすくなるよう従来の送迎バスの復活や駐車場の確保など子ども会負担軽減策について伺う。

A 市長 ● スマートフォンなどを操作する能力にばらつきがあること、個人が使用するアプリ等が多様化しており、統一されないのが実情である。幅広い年齢層の方が利用できることを前提とし、他市の先進事例を参考に引き続き調査研究していく。

Q 住民が迅速かつ安心して行動ができるよう、水害ハザードマップアプリ導入を検討してはいかがか。

A 市長 ● 水泳授業は、小松市で今年、六つの小学校で実施した。費用対効果を検証し来年度以降さらに拡大できないか検討する。子どもたちの安全・泳力向上のためにも、水泳授業の外構造が影響し、部分的に室温が上昇する箇所があることから、設定温度を下げたり、サーキュレーターを配置するなどの対策をしている。それでも、室温の上昇を抑えられない場合には、空調の稼働時間の見直しやスポットクーラーの導入など、効果的な対策を柔軟に検討する。次に、熱中症対策義務化に対する取り組みについて、「熱中症対策マニュアル」を策定し、全職員に周知したところであり、全庁一丸となって取り組んでいる。

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/blQj1O0xcxs>

一般質問を動画でご覧いただけます。
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。
PCからは、<https://youtu.be/FFSYEZFbgo4>



採択された意見書

地方財政の充実・強化に関する意見書

脳脊髄液漏出症患者救済に関する意見書

2026年度政府予算また地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準の確保から積極的に踏みだし、社会全体として求められている賃上げ基調に相応する人件費の確保まで含めた地方財政を実現するよう、以下の事項を求める。

社会保障の充実、地域活性化、DX化、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、より積極的な地方財源の確保・充実をはかること。

など計7項目

自賠責保険の脳脊髄液漏出症に関する後遺障害等級の認定手続きとして、高次脳機能障害（自賠責保険高次脳機能障害認定システム）と同様に専門医による認定システム（脳脊髄液漏出症認定システム）の仕組みを設置すること。

など計2項目



12月定例会の予定

会期: 11月28日(金)~12月16日(火) (19日間)



日	月	火	水	木	金	土
11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28 午前 10 時～ 本会議 開会 生中継	11/29
11/30	1	2	3	4	5 午前 10 時～ 議会改革特別委員会	6
7	8	9 午前 10 時～ 本会議 一般質問 生中継	10 午前 10 時～ 本会議 一般質問 生中継	11 午前 10 時～ 予算決算常任委員会 午後 2 時～ 野々市中央公園拡張整備事業に関する特別委員会	12 午前 10 時～ 総務産業常任委員会 午後 2 時～ 教育福祉常任委員会	13
14	15 午前 10 時～ 予算決算常任委員会	16 午後 2 時～ 本会議 閉会 生中継	17	18	19	20

本会議は誰でも予約なしで傍聴できます。お気軽に傍聴ください。
インターネットで本会議の様子を生中継しています。